



# かけはし

<プラス1>



教育目標

こころをひらき

みらいをひらく



<収穫の秋に喜びもひとしお>

## 多くの皆様のご協力のもと「稲刈り」が行われる

先週金曜日、暑いぐらいの好天の下、稲刈りを行いました。田んぼの稲は金色に穂り、子どもたちの刈り取りを首を長くして待っていたようです。20名以上の協力者のお力を借り、元気に刈り取り作業を行いました。鎌を使う作業では、高学年の子どもたちはスイスイと刈っていく姿が見られました。また、束ねられた稲を稲架（はさ）まで運ぶ低・中学年の子どもたちも一生懸命でした。とてもすばらしい活動ができました。こうした恵まれた活動ができるのも、高橋静良様、土地改良区様、そしておうちの皆様のおかげです。収穫の喜びを感じながら、今年の稲作活動も終わりです。11月の収穫感謝祭が楽しみです。



<先輩に学ぶ>

## 小松節子氏「お話を聞く会」を開催

昨日、北開にも工場を構える「小松ばね工業」(本社:東京)会長の小松節子氏をお迎えし、お話を聞く会を開催しました。このためにわざわざお越しいただいたことに恐縮しながら、およそ1時間があっという間に過ぎました。お話しの中で、若いときに培った「体力と忍耐力」が自身の人生の中で役立っていると語っていました。最後に、子どもたちへ「一人一人、個性をもっている。互いの個性を知り、受け止めて、協力して生きてほしい。」ともお話ししてくださいました。退場されるときの、子どもたちの見送りがうれしかったようです。



## 6年生で租税教室を実施

25日、大曲税務署のご協力を頂戴し、6年生を対象に「租税教室」を開きました。社会科の学習の一環です。教室では、アニメーション動画を使い、税金の使い道や役割について理解しました。(税金のおかげで、自分たちは安全・安心な生活ができています) その後、さらに詳しい秘密について教わりました。1万円の札束(?) 1億円分が登場したときは、大歓声があがりました。



## 将来の太田を考える(太田中 後藤校長先生の指導で)

26日木曜日、太田中学校の後藤校長先生と太田支所地域活性化推進室の藤澤正信さんが来校し、将来の太田を考える「ESD」の学習を行ってくださいました。太田地域の小中学校4校の子どもたちが考えた、12種類の「こうなってほしい太田」に、1番めから12番めまで順番をつけるものでした。グループでは、ああだのこうだのと言い合い、聞き合いをしながら決めていきました。本校の子どもたちは、人と人とのつながりや関わりを大切にする傾向が見られました。また、堅実で、今の生活に満足している姿も想像できました。自分たちの太田をすっごく好きなようです。



<小松ばね工業 会長 小松節子氏 といっしょに>



< 5年生 >



< 6年生 >